



↑肥後大津駅南側のイメージ

「大津町まちづくり基本条例」の理念に基づいて、町民と議会、町長が、それぞれの役割を認識し、協働でまちづくりに携わることが大切だと考えています。

## 第5次大津町振興総合計画の後期計画をスタート



### 第五 「改革と分権の時代の新たな行政運営～行政運営～」

地方分権が進み、複雑多様化する行政ニーズに素早くかつ的確に対応するため、自主的で自立的な行政運営が、行政に求められています。

と歩行者が安全に通行できる整備に努めます。また旧国道57号沿いに街路灯を設置し、安心、安全なまちづくりを目指します。

九州新幹線が全線開業しました。

肥後大津駅は、まちの玄関口であり、顔です。交通の通過点となるのではなく、「おもてなしの心」で、人を呼び、そこで交流が生まれて情報を共有しあうことができるようになります。

そのために、駅の南側に、バスやタクシーの乗降場、自家用車駐車場や駐輪場などがあるバスロータリーと、その一角

と歩行者が安全に通行できる整備に努めます。また旧国道57号沿いに街路灯を設置し、安心、安全なまちづくりを目指します。

肥後大津駅は、まちの玄関口であり、顔です。交通の通過点となるのではなく、「おもてなしの心」で、人を呼び、そこで交流が生まれて情報を共有しあうことができるようになります。

商業と観光は、参勤交代の宿場町として栄えた大津の街並みを蘇らせるために、町民の皆さん 의견を伺いながら、まちづくり活動団体の支援、中心市街地の活性化、観光物産の振興と大津町の情

林業は、大津町森林施業計画に基づき、水源かん養・山地災害防止などの公益的機能の保全に努め、効率的な木材の有効利用と併せて適正な森林施業に努めます。町有林は、適正管理を行い、木材を小学校やまちづくり交流センターなどの公共施設に有効利用していきます。

工業は、雇用確保や経済的效果など町の発展のためには、企業誘致は欠かせないものと考えています。今後も、引き続

も、口蹄疫による影響を受けた畜産農家の経済支援を行いました。

今後も、農業の安定的経営のために、農業基盤の整備とともに、認定農業者の更なる育成と集落営農組織の支援を行います。また環境に配慮した環境保全型農業を進めるためにも、エコファーマーの普及推進を行い、環境負荷の軽減を図ります。

## 情報発信と観光の振興のためにまちづくり交流センターを整備

き企業の情報収集に努め、積極的に企業誘致を進めます。

商業と観光は、参勤交代の宿場町として栄えた大津の街並みを蘇らせるために、町民の皆さん意見を伺いながら、まちづくり活動団体の支援、中心市街地の活性化、観光物産の振興と大津町の情

林業は、大津町森林施業計画に基づき、水源かん養・山地災害防止などの公益的機能の保全に努め、効率的な木材の有効利用と併せて適正な森林施業に努めます。町有林は、適正管理を行い、木材を小学校やまちづくり交流センターなどの公共施設に有効利用していきます。

工業は、雇用確保や経済的效果など町の発展のためには、企業誘致は欠かせないものと考えています。今後も、引き続

も、口蹄疫による影響を受けた畜産農家の経済支援を行いました。

今後も、農業の安定的経営のために、農業基盤の整備とともに、認定農業者の更なる育成と集落営農組織の支援を行います。また環境に配慮した環境保全型農業を進めるためにも、エコファーマーの普及推進を行い、環境負荷の軽減を図ります。

### 第三 「未来を拓くふるまとづくり～教育・文化の振興～」

昨年、策定した大津町教育基本構想に基づき、夢を持ち、夢を育み、夢を叶える教育実践を行っていきたいと考えています。学習支援指導員や特別支援補助員を増員し、学校教育指導員を新たに配置し、児童生徒の基礎学力の充実と向上、教育課程の円滑な実施や授業力の向上を

報発信のために、大津中央バス停横に「まちづくり交流センター」を整備することにしています。また特産品を使った新商品の開発の調査研究を進めたいと考えています。さらに、法務局大津出張所跡地につきましては、既存施設を整備し、町の歴史と文化を次世代に継承していくための活動拠点にしたいと考えています。

生涯学習は、地域のつながりの希薄化が言われていますが、大津まちおこし大会の活動などを通じて地域リーダーやボランティアの育成に努めます。またスポーツは、近年の健康志向型のニーズに合わせて底辺拡大を図り、運動公園を活用して競技力の向上とスポーツ交流を通じた地域活性化と観光振興に努めます。

さらに教育委員会に外部評価委員会を設置します。教育委員会が実施する事務、事業の点検や評価を行い、町民の視点に立った施策の充実を図ります。

人権啓発は、昨年度「大津町男女共同参画都市宣言」を行いました。引き続き、同和問題をはじめ、男女間の暴力行為、高齢者への虐待、ハンセン病に関する人権侵害など、さまざま人人権問題の解消を図るために人権啓発福祉センターを拠点に取り組みます。

### 第四 「魅力的で快適な生活環境づくり～生活環境基盤の整備～」

目標します。また確かな学力の育成のため、生きた教材である新聞を教育の場に活用するためにN-E推進事業（※）に取り組んでいます。さらに、昨年、幼稚園や保育所、学校を中心とした連携を図るために幼保小中連携推進協議会を設置しました。

に駅の南口機能を持つビジターセンターの整備を進めています。9月完成を目指して、事業の推進に努めています。防災は、大規模災害時にも対応できるようデジタル防災行政無線を整備しました。今年度に整備する「子育て健康広場」を緊急、災害時の避難場所として活用します。さらに駅北側にある駅前パトロールセンターを拠点に防犯活動を推進しています。

ます。また駅へのアクセス道路である「駅前楽善線」も、平成26年度末の早期完了を目指して、事業の推進に努めています。防災は、大規模災害時にも対応できるようデジタル防災行政無線を整備しました。今年度に整備する「子育て健康広場」を緊急、災害時の避難場所として活用します。さらに駅北側にある駅前パトロールセンターを拠点に防犯活動を推進しています。

現在、各行政区に役場職員を「地区担当職員」として配置しています。情報を町民の皆さんへ伝え、皆さんの要望をしっかりと把握することで情報を共有していくために、引き続き住宅用太陽光発電システム設置に対する補助を行いましょう。ごみの資源化を進めるため、容器包装リサイクル法に定めるプラスチックの



↑まちづくり交流センターの完成図

23年度は、第5次大津町振興総合計画後期基本計画のスタートの年となります。後期基本計画は、行政と町民との共通のまちづくりの目標である成果指標を設定しました。行政評価とともにその成果についても検証しながら進行管理を行います。

町の行政運営も、厳しい状況が続いているですが、行政改革大綱と後期改革プランに基づいて健全財政の運営に努めます。事業の優先順位をつけながら、長期的視野に立ち、将来に誇れるまちづくりを行います。

以上が、今後のまちづくりにおける私の基本的な考え方です。「地域主権」の大まかな流れのなかで、地域の特性を生きています。

平成25年4月には、大津小学校過大規模解消のため、大津小学校分離校が、美咲野地内に開校します。今後も引き続き、学の活動などを通じて地域リーダーやボランティアの育成に努めます。またスポーツは、近年の健康志向型のニーズに合わせて底辺拡大を図り、運動公園を活用して競技力の向上とスポーツ交流を通じた地域活性化と観光振興に努めます。

生涯学習は、地域のつながりの希薄化が言われていますが、大津まちおこし大会の活動などを通じて地域リーダーやボランティアの育成に努めます。またスポーツは、近年の健康志向型のニーズに合わせて底辺拡大を図り、運動公園を活用して競技力の向上とスポーツ交流を通じた地域活性化と観光振興に努めます。